

令和6年9月3日

中島清晴議長

公明党

奥出かよ子

視察参加報告

開催日時 令和6年8月22日（木曜日）13時～15時

場所 渋谷区教育委員会事務局教育指導課

テーマ 未来の学校

学びを変える 探求「シブヤ未来科」

説明の内容

1. 渋谷区の概要
2. 渋谷区が目指す教育 ～子ども像・教師像～
3. シブヤ「未来の学校」 ～ハード・ソフトの両面から～
4. 今後の展望
5. 意見交換



●未来の学校で大切にす、7つの力。

～子どもたちが自ら、自分の可能性を発見していくために～

- ・基礎：全ての学びの土台となる、各教科の基礎的な力
- ・共感：相手と同じところを見つけて共感し、違うところにも相手の立場になっ
て共感できる
- ・協働：個性を活かし合い、話し合いながらチームワークを進める
- ・探求：どんな興味も大切にして、問いを見つけ、調べる、追いかける
- ・自律：必要なルールについて話し合い、必要なルールを自ら作っていく
- ・挑戦：やったことのないことをやってみる自分、友達を、讃え合う
- ・想像：変えてみる。組み合わせてみる。おもしろい、を大切にする

●探求「シブヤ未来科」の時間とは？

- ・令和6年度から、区立全学校でスタート
- ・原則、午後の時間を

探求「シブヤ未来科」に設定

- ・学びをより主体的・探求的に、より対話的・協働的に

●探求「シブヤ未来科」の目標

－未来に求められる3つの資質・能力－

自己調整力 自ら考え判断して学び続ける

想像力 多様な仲間と協働して新たな価値を生み出す

挑戦力 自分が思い描く未来を実現しようとする

★そろえる教育から一人ひとりを伸ばす教育へ

○従来の学校（一斉に同じやり方で学ぶ）

覚えられないよ～、ついていけないよ！

◎シブヤ未来科（一人ひとりちがう、学ぶベース。一人ひとりちがう、興味の行き先。）

★もっとやりたい！なんで？どうして？面白い～！

●学校が探求に打ち込めるための環境整備

◎先生「探求」の準備をするための時間の確保

- ・余剰時数の削減
- ・Teacher'learning(TLD)の設定（小：週1、中：月1）
- ・DXによる校務や会議の効率化、行事の精選
- ・部活動改革

●先生が自信をもって「探求」に取り組めるための支援

- ・校長会・担当者会・教育指導課訪問での研修や指導助言
- ・先進的な「探求」実践を行う学校を行う学校への訪問や講師を招聘した研修の実施
- ・“Good Next”を引き出す HACHI アプリを活用した学習の振り返り
- ・教員向け「探求ハンドブック」、子供向け「探求リーフレット」の作成
- ・教育委員会や企業による、各学校の探求カリキュラム作成支援
- ・地域・企業によるホンモノ体験

●今後の展望

◎学校と地域・企業をつなぐ、「シブヤ未来科」ポータルサイトの構築

◎探求「シブヤ未来科」スタンダードの構築

- ・より、各学年の発達段階に応じた全体構成の明示
- ・「探求基礎」で身に付けるべき資質・能力、ルーブリックの明示

一各学年の発達段階に応じたベーシックスキルを身に付けること

一探求のサイクルを複数回、回すこと

一課題設定で、質の高い「問い」を立てられるための意図的な

訓練法の開発

一探求サイクルに位置づけられた企業体験

・ My 探求における全校共通の学習活動の設定

●所感

渋谷区の「シブヤ未来科」は、想像を超える取組で、大変学びの多い教育現場であった。未来の学校に来たような錯覚にもなった。これからの未来を託す子ども達の学びの環境整備と、探求という視点に重点を置き、午後を探求の授業にしている。これからの未来に求められる自己調整力・想像力・挑戦力を、3つの資質、能力として、そろえる教育から、一人ひとりを伸ばす教育に。

そんな中、不登校の児童も、探求学習には、参加できるようになる等、評価を得ている。教育現場からは、始めた当初は、私学受験等もあり、授業時間が減った事への不安の声もあったとのこと。凝縮した、中身の濃い授業を工夫した事と共に、企業や、様々な有識者等幅広い学びとの触れ合いもあり、今では理解を得ている。社会のニーズにあった人材を輩出していくこと、子どもの個性を伸ばしていく等、松阪市の於いても多様な教育への取組みを提案して参りたい。

以上